

147. 子供の工作についての考え方

【問い】 小5の男児。工作が好きで良い傾向だと思います。しかし、現在はプラモデルだけなので、どんなものかと思っています。子どもの工作について考えをお聞かせください。

【答え】 最近、模型店に行ってみると、商品の大半がプラモデルであるのに驚かされます。以前も飛行機や機関車、ラジオなどのセットはありました。歯車、プーリー、ねじなどの部品や材料が数多く並んでおり、なにか作りたいものがあると、自分の計画に合わせて身近な材料を集め、作ることが多かったようです。

プラモデルも大物になると細かな部分を切り取ったり、接着するのにねばり強さと、相当な技術が必要となります。しかし、プラモデルは設計どおりに切ったり、接着して色を塗れば、上手下手はあってもとにかく出来上がり、そこには創意工夫の余地はありません。

なにか作ってみたいという気になっても、最初から高度なものは無理でしょうから、最初は手軽に作れるプラモデルなどのセットものが良いでしょう。しかし、ある時期がきたら身近に材料を見つけ、足りないものは金物店、模型店などで探し、自分の頭と腕で作るよう仕向けたいものです。そうして出来たものが、たとえ簡単なものでも、また少々お粗末でも、そこに創意工夫の芽がもえ出るのではないのでしょうか。

振り返ってみると大人自身が、出来合いものやインスタント商品を好んで使い、自分で作るということが少なくなっているように思います。親がなにかを工夫しながら作っているようすを見ているうちに、子どもも「なにか作ってみようか」という気持ちになるのではないのでしょうか。